		業属性 業名	長田野墓園	基金事業								車	禁コード 040	0103540502			
		~-		************************************		で牛き牛き	と暮らし、活	ニかく見送られ	るまち		政策目標			:会環境の充実			
	政策	体系		2 最期まで自分							2010 12 12	<u> </u>	施策コード 612				
	事業	 转担当		05030000 市民							所属長	村上 五十					
	会計	·····································)4 衛生費		1 保健衛生	費	a (3 環境衛生	主費		1 一般会計	決算附属資	資料	頁		
	計画	期間	開始年度	平成9年度	終了予定年	度 令和	8年度	関連計画名	_				R6現在	生の状況 継	送続中		
	根拠	法令等	福知山市墓	園基金条例													
	事業	区分	□ 法定受割	託事務 □	国府補助事	業 ☑	市単独事	業 口内	部庶務的事	====================================)他 ()		
	関連	事業	市営墓園管	理事業													
Ш	事	業基礎情報	·														
(事業	を目的 現に向けて たす役割)		園の墓所の使用	月料について、	適切な管理	退及び運用を	を図るため基金	会に積立を	行う。							
	対	象者	市民(墓園伎	吏用者)					対象者数	14	8	単位あた	りコスト	1.6			
	実施		☑ 直接実施	施 □ 業績	務委託	□ 指定管	理 [」 補助金交付	. [」 その他	()		
委	託先・写	尾施主体等															
		は概要 を書き)	福知山市墓	園基金条例に基	らいき、墓所使 ・	用料を基金	に積み立っ	C 6.									
			支出に係	系る主な費目	支出実績	(R5)				主	な業務内容						
		出に係る 容と経費															
III	平	算執行状法	₽ 														
	<u>区</u>	好 秋11 1八 / 分		R4(評価前年度)		R5(評価:	年度)		R6(本	年度)		R7	(要求年度)			
	① 当	初予算			0				0			0			0		
予	② 補	正予算			500				0			0			0		
算情	3 繰	越予算			0				0			0			0		
報		前年度繰越			0				0			0					
		次年度繰越			0				0								
ļ	小計(1)~(3)			500				0			0			0		
予	① -	般財源			0				0			0			0		
算	② 国	支出金			0				0			0			0		
財源		支出金			0				0			0			0		
内訳	④ 地				0				0			0			0		
		の他特財			500				0			0			0		
決算		充用額			0				0								
算情		当予算			500				0								
報	③ 執 ④ 執				500 100.0%				0								
人概工算	① 従足職員/金	11年 事職員数 会計年度任用職員 正職員/非常勤嘱託	0.04	/	0.00	0.03	/	0.00		/	/			/			
	② 概	算人件費			320				240								
		ルコスト i+概算人件費)			820				240								

Ⅳ 業績指標

成里室籍	指	標	単位		R3			R4		R5			R6			最終目標
成果実績(アウトカム)	【定性的評価】				/		/			/				/		
実績/目標					/			/			/			/		
	指	標	単位		R3		R4			R5			R6			最終目標
活動電籍	単年度積立額		千円	500	/	500	500	/	500	0	/	500		/	500	-
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	スト		-			1.0			0.0					
実績/計画					/		/			/				/		
		単位あたりコ	スト													

V ーカ	と評価(事	[業担当所属内による自己評価]		
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・福知山市墓園の墓所の使用料について、適切な管理及び運用を図ることを目的とした事業である。	
必要	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・基金の運用から生ずる収益は、これを一般会計歳入歳出予算に計上して墓園の維持管理のために使用し、福知山市墓園の墓所の使用料は、この基金に積み立てている。	□ やや高い
効率	医性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・基金を取り崩しながら、墓園の維持管理のために有効に活用されるものである。	
有效	为性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		・市宮基園の維持官理事業に使えるよう基金積立るなど、墓園の適切な管理及び運営に繋がってしま現状においては問題なく運用できており、今後も		法国改修工事を施工す
定性的 含めた自	1己評価			
及び現状	まで課題			
		・福知山市墓園(長田野墓園)の適切な管理及ひ 	運用を図るため、墓所の使用料は基金に積み立てる。	
改善	等策			
\/ - ¾	を証価(重	 -業所属外による他部署評価)		
VI —V	へ可して	- 木川 南川による旧即有 町 個)		
事後評価	ロメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

VII 1 1 100 2 13 1 2 7 7		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
42 W 48 C	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
	□ 事業の見直しなし	

VIII 予复反映結果

──	5禾						
予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	[□ 予算縮減		
了异众吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名:) [□他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市	•	和63	年度	事務事	<u>.</u> .	棠 評·	価シ	- F	•					(単位:干	-円)
事業名	市営墓園管	理事業									事	業コード 0	40103540	503	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひと	りが、最期ま	で生き生きと暮らし	、温	かく見送られ	るまち		政策目	標 1	自分らしく	(暮らせる	社会環境の	の充実	
以来许术	施策名	2 最期まで自分	らしく生きられ	1る「終活」の普及						•	施針	策コード 6	12		
事業担当	所属	05030000 市民紀	総務部 市民	課					所属	長 村.	上 五十針	冷			
会計情報	款	04 衛生費	項 01	保健衛生費	0	3 環境衛生	費	会計	01 —	般会計	決算附属	資料	147	頁	
計画期間	開始年度	昭和62年度	終了予定年	関連計画名	_					R6現	在の状況	継続中	1		
根拠法令等	墓地•埋葬	遠地・埋葬等に関する法律、福知山市墓園条 例													
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事	業 ☑ 市単独	事業	€ □ 内部	邓庶務的事業	E □ ₹0)他	()
関連事業	_														
事業基礎情報	· ·														
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営墓園(長谷墓園、長田野	P墓園)の維持	管理のための事業	きであ	ა									
対象者	市民(両墓	園使用者)				:	対象者数	37	'7	単	色位あたり	リコスト		18.0	
実施方法	☑ 直接実	施 🛭 業務	务委託	□ 指定管理		補助金交付		その他	()
委託先•実施主体等	委託先 福	知山市長谷墓園	管理組合(長	谷墓園)、福知山市	長田	野墓園管理	組合(長田野	墓園)							
	市営墓園(長谷墓園、長田野	幕園)の各管	理組合への委託等	手に。	より、市営墓園	園の維持管理	を行う。							

108 消耗品、長谷墓園バリカー取替修繕

277 維持管理業務

10 長田野墓園一輪車

67 郵送料、ごみ廃棄処分手数料、草・剪定枝処分手数料

主な業務内容

主な支出に係る 業務内容と経費

事業概要 (箇条書き)

支出に係る主な費目

需用費

役務費

委託料 備品購入費 支出実績(R5)

	予算執行状》 区 分		R4(評価前年度)			R5(評価年	度)		R6(本年月	E)		R7(要	求年度)		
	① 当初予算			744			738			730				0	
予	② 補正予算			0			0			0	(
算情	③ 繰越予算			0			0			0				0	
報	前年度繰越			0			0			0					
	次年度繰越			0			0								
	小計(①~③)			744			738			730				0	
予	① 一般財源	4:					36			35				0	
算	② 国支出金			0			0			0	0				
#75	③ 府支出金	0					0			0				0	
内訳	④ 地方債	0					0			0				0	
	⑤ その他特財	702					702			695				0	
	① 流充用額			0			0								
	②配当予算			744			738								
報	③ 執行額			350			463								
	4 執行率① 従事職員数			47.0%			62.7%								
人概工算	正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	1.04 / 0.00			0.79 / 0.00				/		/				
	② 概算人件費	8,320					6,320								
卜 ·	ト ータルコスト (予算執行額・概算人件費)		8,670			6,783									
	2-4-71 m44-01		長谷墓園管理事業基	基金繰入(墓園基金)		基金繰入金				321		35		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長田野墓園管理事業	基金繰入	入(墓園基金) 種類		基金繰入金	実績金額			95 決算	附属資料	35	頁	

IV	業績指標	
	成果実績	

成単宝績	指	標	単位		R3			R4		R5			R6			最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	【定性的評価】				/			/			/		/			
天模/日傑					/			/			/			/		
	指	標	単位		R3		R4			R5			R6		最終目標	
活動宣籍	維持区画数		区画	417	/	417	417	/	417	417	/	417		/	417	417
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		8.0			8.0			1.1					
実績/計画					/		3	/			/			/		市営墓園管理事業
		単位あたり〓	コスト		•			•								

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要	·性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	・4年度末までの待機者が2名、5年度中新たに3名の市民が墓園の使用待機者登録の申請を行った。 ・上記5名のうち、5年度中に2名の市民が墓地を使用することとなり、1名は途中辞退した。 ・5年度末時点の待機者は2名となっている。 ・継続して墓園使用の希望があることから、市営墓園の管理事業は必要である。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・長谷墓園のバリカー修繕を実施する等、必要に応じた維持管理に努めている。 ・その他、市営墓園の費用は、支障なく使用することができる必要限度まで削減した。	□ やや高い
効 琫	生性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・墓園内の清掃を管理組合に委託することで、市の支出を削減しながら支障な〈墓園を管理することができた。	
有效	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	 - 	
定性的 含めた自 及び現状	己評価	る必要がある。【定性的評価】		
改善		・市営墓園の維持管理に係る最低限の業務及びの見地から支障なく利用することができるよう事態	法令等に基づく業務は必要であるため、現状通り墓地使用者の宗教的感情に適合し、公衆 業を実施し、適切な維持管理を行っていく。	衛生その他公共の福
VI 二次	·····································	業所属外による他部署評価)		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
10 V 20 0	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
r a sannai	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹相木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

事業名	斎場火葬棟	運営管理事業									事業コ	Iード 040103	540505	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひと	≤りが、最期まで	生き生きと暮らし	、温力	かく見送られ	るまち		政策目標	票 1 自分	らしく暮	らせる社会選	境の充実	
以来评示	施策名	2 最期まで自分	うらしく生きられ	る「終活」の普及							施策コ	iード 612		
事業担当	所属	05030000 市民紀	総務部 市民課						所属長	今井 3	<u>z</u> _			
会計情報	款)4 衛生費	項 01	保健衛生費	目	O	3 環境衛生費		会計	01 一般会	計決		147	頁
計画期間	開始年度	平成8年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名	-					R6現在の∜	紀 継続	売中
根拠法令等	墓地、埋葬	等に関する法律												
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業	口 内部	81庶務的事業	□ その)他	()
関連事業	斎場施設改	修事業												

|| 事業基礎情報

11 事業全域間	TK.						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・人生終焉の地にふさわしい・使用者(遺族)にとって心や				€自然に囲まれた環境を	推持していく中で、葬	祭と火葬を執り行う。
対象者	斎場施設使用者			対象者数	20,000	単位あたりコスト	3.3
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	至管理 □ 補助金	交付 口	その他 ()
委託先•実施主体等	(株)五輪、(社)福知山市シル	バー人材センター、	姫路ナブコ(株)、(株)島	津テクノリサーチ	、三菱電機ビルソリュー	ションズ(株) ほか	
事業概要 (箇条書き)	・斎場(葬祭棟、火葬棟)施設 ・火葬業務委託、斎場周辺等 <u>利用柱財</u> (特財名称・程類、 ・有価物(斎場)、称品売払山 ・自動販売機等電気代等(斎 ・コピー(斎場)、雑入、1千円	審権委託等の運営 実績金額、決算附属 な入、1,730千円、34頁 場)、雑入、28千円、	資料頁) [・金属くず(斎場)、物品				
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容		
	需用費	16,105	消耗品費、燃料費、印刷	製本費、光熱水	、費(電気・水道・ガス)、傾	§繕料	
主な支出に係る	役務費	329	通信運搬費(電話·郵送	料)、手数料(法	定点検手数料・廃棄物運	搬手数料・クリーニン	·グ)、保険料(建物·自動車)
業務内容と経費	委託料	36,812	機械設備・保守管理、警備	i、施設清掃、廃棄	物等収集、除草・剪定、除	雪、維持管理、周辺大気	私及・排ガス測定、火葬業務
	使用料及び賃借料	502	複写機使用料、機器等作	昔上料、NHK受	信料		
	備品購入費、公課費	113	備品(ワイヤレスマイク・	集じん機) 108、	自動車重量税 5		

||| 予算執行状況

	X	分		R4(評価前年度	E)		R5(評価年	度)	R6(本年)	E)	F	R7(要	求年度)	
	1 1	当初予算			51,924			56,817		56,061				0
予	2 *	補正予算			0			0		0				0
算情	3 #	操越予算			0			0		0				0
報		前年度繰越			0			0		0				
		次年度繰越			0			0						
	小計	(1)~(3)			51,924			56,817		56,061				0
予	① -	一般財源			18,367			26,879		23,791				0
算財源		国支出金			0			0		0				0
源		莳支出金			0			0		0				0
内訳		地方債			0			0		0				0
D/\	_	その他特財			33,557			29,938		32,270				0
決					4,120			0						
決算	2 B	記当予算			56,044			56,817						
惰報	3 ‡	执行額			56,044			53,861						
		执行率			100.0%			94.8%						
人概工算	正職員/ ※R4は	生事職員数 /会計年度任用職員 、正職員/非常勤嘱託	0.91	/	0.78	0.99	/	1.60	/				/	
		既算人件費			9,464			12,400						
卜	一夕 ^{算執行}	ルコスト 額+概算人件費)			65,508			66,261						
				葬祭棟等使用	料			衛生使用料		7,1	75		8	
(N		利用特財 年度実績値)	特財名称	斎場一部使用	料		種類	衛生使用料	実績金額		16 決算附属	資料	8	頁
				火葬棟使用料				衛生使用料		22,6	03		8	

成里宝績	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
	葬祭棟使用件数	ι	件	125	/	200	115	/	200	101	/	200	/	200	200
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
任動室籍	火葬件数		件	1068	/	1000	1115	/	1000	1102	/	1000	/	1000	1000
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		47.6		_	50.3			48.9			文担儿	/ 恭持 军员 答理 古书
実績/計画					/		2	/			/		/	厨 物プ	· 葬棟運営管理事業

	単位あたりコスト			

必要(+		
	性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	・斎場は、社会生活において必要不可欠な施設であり、「墓地・埋葬等に関する法律」に基づき安定した火葬業務の提供が必要である。 ・火葬業務については、公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われる必要があることから、市が実施することが妥当である。 ・ここ数年、家族葬が増えているが、100~200人規模の葬儀も復活してきており、様々な	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	状況に応じた葬祭・火葬サービスが提供できるよう斎場運営に取り組んでいる。	☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・施設の維持管理については、適切な運営をしていく上で、必要最小限のコストになっている。 ・使用料については、他市と比較して高額であり、今以上の負担増は困難である。	□ やや高い
効率(性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	・場内外の照明等を令和2~4年度で、すべてLED化に改修が完了した。今和5年度には 冷暖房設備を更新し、場内の設備の更新についてはおおむね完了した。職員間において は、日々出来る限りの節電に取り組んでいる。	□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
有効!	椎	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ	・施工後27年が経過し、施設の老朽化が進んでいるが、年間を通じて各種設備の保守点検を行い、安全で安心できる斎場運営を実施している。・・式場使用が年々減少している。市内の葬儀業者がコロナ禍のなか家族葬向けホールを新設されたのが大きな要因である。ただ一般葬が徐々に増えているため、多くの参列が可能な斎場での利用が今後増えることを見込んでいる。	
13 20 1		投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面 含めた自己! 及び現状の!	評価	気及び排ガス測定については、地元自治会と協力 ついては維持できた。 ・斎場周辺の長田野運動公園、西奥池広場等を行	こいるが、施設設備に関わる保守点検業務を行っており、全てにおいて適切に実施し問題は 定を締結しており、毎年度2回を環境測定を行い、測定結果は環境目標値や基準値を超えて 含め、関係課と連携し、除草や伐採ほか環境整備・保全を行い環境美化に努めた。 <364日、火葬・告別式・通夜等の対応を行い、遺族が故人との最後のお別れの場として相が	おらず、環境衛生面に
改善分	策		ことが出来るよう、関係課と連携して斎場及び周辺の自然環境整備及び保全に引き続き努め D損傷は多くなる。炉の延命化を図っていく上でも日々の清掃から点検、定期的なメンテナス	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in at an a	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
PARAME	□ 事業の見直しなし	

	4 // = > = //-	· • =						
ľ	予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
	了异及吹和米	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

(単位:千円)

	-					
1		重	泰	属	胜	

•																
事業名	長谷墓園基	金事業										事業コ	ード 0401035	40561		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひと	こりが	、最期まで生	まき生きと暮らし	、温	かく見送られ	るまち		政策目標	1 自分	らしく暮	らせる社会環	境の充実		
以来许尔	施策名	2 最期まで自分	らし	く生きられる	「終活」の普及							施策コ	ード 612			
事業担当	所属															
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保	健衛生費	会計	01 一般会	計	中算附属資料	147 · 148	頁					
計画期間	開始年度	昭和62年度	終	了予定年度	令和8年度	ı	関連計画名	_					R6現在の状	:況 継続中	ŗ	
根拠法令等	福知山市墓	園基金条例														
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ())		
関連事業	市営墓園管	理事業														

|| 事業基礎情報

争果垄Ç们等	·K														
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市墓園の墓所の使用	料について、適切な	管理及び運用を図るため	基金に積立を行	īð.										
対象者	市民(墓園使用者)			対象者数	229	単位あたりコスト	121.3								
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	E管理 □ 補助金	交付 口	その他 ()							
委託先•実施主体等		知山市草園基全条例に基づき、草所使田料を基金に積み立てる													
事業概要 (箇条書き)	富知山市墓園基金条例に基づき、墓所使用料を基金に積み立てる。														
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容										
	積立金	400	基金積立金												
主な支出に係る															
業務内容と経費															

	区			R4(評価前年度	E)		R5(評価年	度)	R6(本年	度)	R7(要	(求年度)	
	1	当初予算			0			0		0			0
予	2 1	補正予算			200			400		0			0
算情	3 1	繰越予算			0					0			0
報		前年度繰越			0			0		0			
		次年度繰越			0			0					
	小計	·(①~③)			200			400		0			0
予	① ·	一般財源			0			0		0			0
算时	<u> </u>	国支出金			0			0		0			0
財源	_	府支出金			0			0		0			0
内訳	④ 地方債⑤ その他特財				0			0		0			0
			200 0					400		0			0
決算		流充用額						0					
算権		配当予算			200			400					
情報	-	執行額			200			400					
		執行率			100.0%			100.0%					
人概工算	正職員 ※R4は 職員	述事職員数 A/会計年度任用職員 は、正職員/非常勤嘱託	0.04 / 0.00		0.03	/	0.00	/			/		
		概算人件費			320			240					
卜	一 夕 ⁹ 算執行	スルコスト f額+概算人件費)			520			640					
				長谷墓園永代伯	使用料			衛生使用料		4	100	8	
(1)	主な N - 14	利用特財 年度実績値)	特財名称				種類		実績金額		決算附属資料		頁

成里宝績	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
成果実績(アウトカム)	【定性的評価】				/			/			/		/		
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
活動室籍	単年度積立額		千円	600	/	600	200	/	200	400	/	200	/	200	-
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	コスト		-			1.0			1.0				
実績/計画					/		8	/			/		/		
		単位あたりコ	コスト						•	·		•			

□ 事業の見直しなし

(統合事業名:

□ 現状維持

□ 他事業を統合

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果

	項	Ħ	評価の観点		評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事	・福知山i 業か 業である	市墓園の墓所の使用料について、適切な管理及び運用を図ることを目的とした事 。	
4	必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	Ø.		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か			☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・基金の 理のため	運用から生ずる収益は、これを一般会計歳入歳出予算に計上して墓園の維持管 に使用し、福知山市墓園の墓所の使用料はこの基金に積み立てている。	□ やや高い
3	効率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか			□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか			□低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・基金を耳	取り崩しながら、墓園の維持管理のために有効に活用されるものである。	
;	有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか			
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか			
			・市営墓園の維持管理事業に使えるようするなど、墓園の適切な管理及び運営に・現状においては問題なく運用できており	:繋がっている。【定		夏所の解体工事を施工
	性的な	な面も 己評価				
		の課題				
			・福知山市墓園(長谷墓園)の適切な管: 	里及び運用を図るが	ため、墓所の使用料は基金に積み立てる。	
	. ÷	Adr				
C	汝 善	束				
VI	二次	評価(事	業所属外による他部署評価)		
nder d	公司 / 二	コメント			事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
- 17- 1	夜計11111-	コンント		•	尹未計画天旭伎(
VII	評価	をふまえれ	た次年度事業方針			
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容	
	担当謂	₽o	□ 事業の見直し			
4	業の見	直直し	□ 統合/組換			
予	英要求		□ 廃止/休止			

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

□ 廃止/休止 □ 予算拡充

(単位:千円)

-	•		_	•	,	
1	4	¥¥.	足	-lul-		

事業名	行旅死亡人	.取扱事業									事業コ	ード 03010	142031	6	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひと	_りが	、最期まで生	まき生きと暮らし	、温	かく見送られ	るまち	政策目	標 1 自分	らしく暮	らせる社会	環境の	充実	
以来评示	施策名	2 最期まで自分) 6 1	く生きられる	「終活」の普及						施策コ	ード 612			
事業担当	所属														
会計情報	款	03 民生費	01 社	会計	01 一般会	計 決	除算附属資料			頁					
計画期間	開始年度	昭和25年度	終了	了予定年度	令和8年度	B	関連計画名	-				R6現在の	伏況	継続中	1
根拠法令等	行旅病人及	.び行旅死亡人取	扱法	• 福知山	市行旅病人、行	旅列	E亡人及びこ	れらの同伴者の救護又は	は取扱いに	関する規則	IJ				
事業区分	☑ 法定受	託事務 🗸	国府	補助事業	□ 市単独	事業	口 内部	『庶務的事業 □ その	D他	()
関連事業	_		•												
	-														

|| 事業基礎情報

11 子术全观117	N.														
	市内において身元不明で遺作について公告を行う。	体の引取り手がないタ	死者(行旅死亡人)が発」	見された場合に、	行旅病人及び行旅死亡。	人取扱法に基づき、す	^{長祭等を行うとともに当該案}								
対象者	行旅病人及び行旅死亡人			対象者数	1	単位あたりコスト	80.0								
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	管理 □ 補助金	交付 🗆	その他 ()								
委託先・実施主体等															
事業概要 (箇条書き)	市内で発生した行旅死亡人	内で発生した行旅死亡人について、行旅病人及び行旅死亡人取扱法に基づき、葬祭執行及び公告に要する事務を行う。													
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容										
主な支出に係る															
業務内容と経費															

Ⅲ 予算執行状況

	Z	3 分	ı	R4(評価前年月	度)		R5(評価年	度)	R6(本年	隻)	R7(要	求年度)	
	1	当初予算			200			200		200			0
予	2	補正予算			0			0		0			0
算情	3	繰越予算			0			0		0			0
報		前年度繰越			0			0		0			
		次年度繰越			0			0					
	小計	†(1 ~3)			200			200		200			0
予	1	一般財源			0			0		0			0
		国支出金			0			0		0			0
算財源内訳		府支出金			200			200		200			0
内即	_	地方債	0					0		0			0
B(その他特財						0		0			0
決	_	流充用額			0			0					
算		配当予算			200			200					
決算情報		執行額			0			0					
	4	執行率			0.0%			0.0%					
人概工算	(1) 正職員 ※R4I 職員	執行率 従事職員数 員/会計年度任用職員 は、正職員/非常勤嘱託	0.00	/	0.00	0.01	/	0.00	/			/	
	2	概算人件費			0			80					
卜	— 算執行	タルコスト 〒額+概算人件費)			0			80					
(1)	主な N-1	3利用特財 年度実績値)	特財名称		<u> </u>		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成里宝績	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
成果実績(アナトカム)	行旅死亡人の人	数	人	0	/	1	0	/	1	0	/	1	/	1	1
実績/目標					/			/			/		/		
活動実績 (アウトブット) 実績/計画	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
	葬祭執行実績		件	0	/	1	0	/	1	0	/	1	/	1	1
		単位あたりコ	コスト		0.0										
					/			/			/		/		
		単位あたりコ	コスト												

VIII 予算反映結果

予算反映結果

□ 現状維持

□ 他事業を統合

□ 廃止/休止 □ 予算拡充

(統合事業名:

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業	法定受託事務で身元不明の行旅死亡人の葬祭等を執行するものであり、事象発生時に か おいて不可欠な事業である。	
必要	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	法律に基づき、警察等の関係機関と連携しつつ、適正な事務処理を行う。	□ やや高い
効 革	医性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		☑ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	事象が発生すれば、警察からの引継ぎにより実施する事務であることから、必要最小限 の経費を見込んでいる。	
有效	为性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		平成28年度以降の実績はないが、該当の事	5象が発生した際には法律に基づき、必要最小限の経費で適正に事務を行う。	
定性的	か高も			
含めた自及び現状	1己評価			
		事象発生時には、警察等の関係機関との通	携しつつ、適正な事務執行に努める。	
改善	事策			
	· 次評価(事	- -業所属外による他部署評価)		
事後評価	ゴ コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
I VII 評価	あをふまえ だ	 た次年度事業方針		
		方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当	舞の	□ 事業の見直し		
事業の	見直し	□ 統合/組換		
及 予算要:	ひ 求方針	□ 廃止/休止		
		□ 事業の見直しなし		

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1	事業属性	•	,	,	•		•	1	, ,	•		•						(単位:	十円)
	事業名	墓地埋葬法	による死亡人埋	葬事業											事業	コード 0301	01520119		
	7		6 市民一人ひ		で生き生き	きと暮らし	. 温 /	かく見送	られる	<u>まち</u>		政	策目標	1 白分		<u> </u>			
	政策体系		2 最期まで自分					- 1,55,72				1 ~	-14 - 1/4	//		コード 612			
	事業担当	所属	15020000 福祉]W W							所属長	山添 ネ		J 012			
			****			L #L		l	01 74	ᄼᇶᆔᄵᇰ	次 弗					h ケルロ次、	lol 4	100	-
	会計情報	1	3 民生費	• •	社会福祉		目			会福祉総		云	計 0	1 一般会	āŤ	決算附属資		09	頁
	計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年	度 令和	和8年度	関	連計画	回名 -							R6現在0	の状況	継続	中
	根拠法令等	墓地、埋葬等	等に関する法律																
	事業区分	☑ 法定受	託事務 🗆	国府補助事	業 [] 市単独	事業		内部原	旅務的事業	ŧ	□ その他	()
	関連事業	_																	
	事業基礎情	報																	
	事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)		等に関する法律 を行う。]第9条〔市町	「村長の埋	葬又は火	薬の	義務〕	こ基づき	・、市内で	死亡人	人があったと	さ、葬名	 入	がない	場合には、	市長が葬	祭執行	人と
	対象者	葬祭執行人	がいない死亡人						対	象者数		_		単位は	あたり=	コスト			
	実施方法	☑ 直接実施	施 □ 業	務委託	□ 指定管	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		補助金	交付:		その	他()
盉	託先·実施主体等			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ 11.2			110-93 222											
*	记儿 天旭工件节	市内で死亡	人があったとき、	葬祭執行人 <i>t</i>	がいない場	合に市長	が火	′ 葬等を	·行う。										
	事業概要 (箇条書き)			1															
		支出に係	系る主な費目	支出実績	(R5)							主な業	務内容						
		扶助費			227 火	〈葬費、葬	祭費												
	主な支出に係る																		
	業務内容と経費																		
	予算執行状法	汉			•														
	区分		R4(評価前年度)		R5(評	価年	度)				R6(本年月	₹)			R7(要求年度))	
	① 当初予算			480					48	0				480		•			0
予	② 補正予算			0						0				0					0
算										-									
情	③ 繰越予算			0						0				0					0
報	前年度繰越			0						0	_			0					
	次年度繰越			0						0									
	小計(①~③)			480					48	0				480					0
₹	① 一般財源			0						0				0					0
算	② 国支出金			0						0				0					0
財源	③ 府支出金			480					48	0				480					0
内	④ 地方債			0						0				0					0
訳	⑤ その他特財			0						0				0					0
	① 流充用額			0						0									
決算	② 配当予算			480					48	0									
情	③ 執行額			172					22	7									
報	4 執行率			35.8%					47.3	%									
	① 従事職員数										_								
人概	正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託	0.03	/	0.02	0.11		/	0	.00			/					/		
工算				200															
	② 概算人件費			296					88	J									
	一タルコスト ・			468					1,10	7									
(1	一并77门限"现并八门良/										_								
(1)	主な利用特財 N-1年度実績値)	特財名称					Į					実績金額				決算附属資料	FI		頁
IV	業績指標																		
		1	指標	単位		R3			R4			R5			R6		最終	終目標	
	成果実績 (アウトカム)	市内死亡人	対応件数	件	6	/	0	2	/	0	2	/	0		/	0		0	
	実績/目標			- '' 		/				•					/				
			指 標	単位		R3			R4						R6		旦《	終目標	
							^				_	R5			_		取制		
	活動実績	葬祭執行件	-	件 // -/	6	-	0	2	/	0	2		0		/	0		0	
	(アウトプット) 実績/計画		単位あ	たりコスト	1	27.2			86.0			113.5							
	, II -					/		12	/			/			/				
			単位ある	たりコスト				1											

項	目	l	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	市内で死亡され、身元は判明しているが遺体を引き取る者がなく、葬祭執行人が無い場合に市長が火葬等を行う。	
必	要性	生	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	葬祭執行人がない場合、法律で定められた範囲が民間事業者にまで及ばず、利益性がないので民間事業者が実施することは困難である。 該当する案件が発生した場合には、必要最低限のコストで対応を行っている。	□ やや高い
勃	率性	生	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	法令に基づき実施を行い、適切に対応を行っている。	
有:	効性	生	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			令和5年度の実施件数は2件であった。法令に定た場合は引き続き対応を行う。	2められていることで、葬祭執行人がいない場合においても火葬が執行出来ている。今後も、	該当する案件が発生し
定性的	的な面	iŧ			
含めた 及び現					
			身寄りのない独居の方や、家族や親族との関係 の事業の利用件数を減らすことが出来ると感じる	性が希薄な方が社会とつながりを持つことや、生前から準備を整えることができるような重層 っ。	的支援を行うことで、こ
改	善分	ŧ			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
la di III o	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
了开女小刀到	□ 事業の見直しなし	

1 1 3 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	1-						
予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹和 木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 今和6年度事務事業評価シート

相处山中	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	700	个没手	₹初 尹	来声	十分ン	— [(単位:千	円)		
事業属性															
事業名	介護保険施	隻保険施設サービス費 事業コード 020101420518													
政策体系	基本政策	基本政策 6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち 政策目標 1 自分らし										らしく暮らせる社会環境の充実			
以来评示	施策名	2 最期まで自分	1	施策コード 612											
事業担当	所属	15030000 福祉係	E章												
会計情報	款 02	保険給付費	項 01 保	:険給付費	目 0	1 介護サービス等	等諸費	会計	15 介護保険	決算附	属資料	275	頁		
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画	連計画名 第9次・第10次福知山市高齢者保健福祉計画 R6現在の状況					継続中				
根拠法令等	介護保険法	護保険法													
事業区分	□ 法定受	託事務 🛮	国府補助事業	□ 市単独乳	第 □	内部庶務的事業	€ □ その)他 (•)		
関連事業	_														
事業基礎情報	· 眼												•		
	少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。 (施策奏現に向けて												を		
対象者	第1号及び第	第2号被保険者の	うち要介護・要え	援認定を受けた	者	対象者数	5,0	00	単位あた	-りコスト		523.1			

11 子木生灰111	N.						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	少子高齢化が進む中で、本下図るとともに、適正で安定した				用する高齢者が増加してい	いる。在宅福祉サーヒ	ぶて、施設サービスの充実を
対象者	第1号及び第2号被保険者の	うち要介護・要支援詞	恩定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	523.1
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	孫委託 □ 指定	管理 □ 補助金	☆ 交付 □	その他()
委託先•実施主体等							
/de// de	要介護認定者に対して提供し (介護保険サービス量の増加 画を立て、当該計画の中で介 年度までを計画期間としてい	は、介護保険給付費 ・護保険サービスの事	の増加を招くことになり	、介護保険料へも	影響を及ぼすこととなる。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容		
	負担金補助及び交付金	2,615,246	介護給付費負担金(施	設サービス給付費	b)		
主な支出に係る							
栗務内容と経費							
事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割) 図るとともに 対象者 第1号及び第 実施方法 要施方法 図 直接実施 要介護認定・ (介護保険サー 画を立て、当 年度までを言 支出に係 負担金補助)							

Ⅲ 予算執行状況

	区	分		R4(評価前年月	变)		R5(評価年	度)		R6(本年原	E)		R7(要求	 作度	
	1 #	初予算			2,860,088			2,923,285			2,629,355				0
予	② 補	正予算			0	0					0	0			0
算情	③ 繰	繰越予算 0				0			0				0		
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0							
	小計(① ~ ③)	2,860,08					2,923,285			2,629,355				0
₹	① 一般財源			0			0			0				0	
算		支出金	657,03					663,274			584,883				0
財源		F支出金 · · ·			500,515			511,573			460,137				0
内訳	4 地方債				0			0			0				0
		の他特財		1,702,538		1,748,438					1,584,335				0
決算		充用額			0										
算権		当予算			2,860,088			2,923,285							
惰報	③ 執				2,591,160			2,615,246							
	4 執				90.6%			89.5%							
人概工算	正職員/4	事職員数 会計年度任用職員 正職員/非常勤嘱託	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00		/			/	/	
	2 概	· 提算人件費			400			400							
		ルコスト (計概算人件費)			2,591,560			2,615,646							
				介護給付費交	付金現年度分			介護給付費交付	706					270	
(N		川用特財 (度実績値)	特財名称	介護給付費負	担金現年度分		種類	介護給付費負担	金	実績金額	653,	312	決算附属資料	269	頁
				介護給付費負	担金現年度分			介護給付費負担	金		326,	906		270	

成里宝練	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	【定性的評価】				/			/			/		/		
					/			/			/		/		
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
活動宣籍	介護施設サービ	え給付件数	件	10100	/	10548	9823	/	10692	9837	/	10872	/	9816	-
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	コスト		264.4			263.8			265.9				
実績/計画					/		14	/			/		/		
		単位あたり二	コスト			•									

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	介護保険法において介護保険事業運営の実施主体は市町村とされている。高齢化率が増加する中、高齢者の生活を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。	
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自の単価設定等はない。	□ やや高い
効 率	生性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	高齢化が進む中、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。	
有效	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市 高齢者が安心して生活していくためには、介護保 画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定	験サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第9次高齢者保健福祉計画及び	第8期介護保険事業
	. . .	国に至って、歴エペー・大陸日と行うです。 12	TH 701 11111	
定性的な合めた自	己評価			
及び現状	の味趣			
		今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービ 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよ	ス費の増加が見込まれる。 う、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運	堂を引き続き行って
		ζ.	スプタなり こへと過ごに供給 Cc 3 杯前 フィカル 安 C の ス 過 切る 月 設 体 検 前 及 の 達 る 介護 保 険 制 度 に よる 法 定 給 付 事 業 で あ り 見 直 し な し 。	一 こうじゅんじょうし
			る月設体院前長による点に相当事業とのプルロレスと。 齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。	
改善	策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in at an a	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
PARAME	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异次吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

特定入所者介護サービス(施設入所者の居住費や食費負担分)に係る給付費 (第9次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)

支出実績(R5)

支出に係る主な費目

負担金補助及び交付金

福知山市	令	和6.	年	变事	移事	נ ב	業評	何	らシ	一 }	•				(単位:	千円)
事業名	特定入所	者介護サービス給	付費										事業コー	F 020101	120553	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひる	ニりが、聶	長期まで生	Eき生きと暮らし	、温	かく見送られ	れるま	ち		政策目標	票 1 自分	らしく暮ら	せる社会環	境の充実	
以来许术	施策名	2 最期まで自分	うらしく生	きられる	「終活」の普及								施策コー	ド 612		
事業担当	所属	15030000 福祉	保健部	高齢者福	基祉課						所属長	小野木	正章			
会計情報	款(2 保険給付費	項	01 保	険給付費	目	01 2	介護サ	ービス等	諸費	会計	15 介護保	険 決算	阿属資料	275-276	頁
計画期間	開始年月	平成12年度	終了予	5定年度	令和8年度	B	関連計画名	第9	次•第10	次福知山市	高齢者保	建福祉計画	Ī	R6現在の状	紀 継続	:中
根拠法令等	介護保険	法	•					•								
事業区分	□ 法定:	受託事務 🗸	国府補	助事業	□ 市単独	事業	美 口内	部庶	務的事業	. □ ₹ <i>0</i> .	他	()
関連事業	-															
事業基礎情報																
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)		化が進む中で、本 に、適正で安定し						サービ	「スを利用	引する高齢者	が増加し [・]	ている。在:	宅福祉サ [.]	ービス、施訓	をサービスの す	き実を
対象者	第1号及0	ぶ第2号被保険者σ	うち要が	介護・要支	援認定を受けた	:者		対象	者数	5,0	00	単位は	うたりコス	-	38.9	
実施方法	☑ 直接	実施 □ 業績	务委託		指定管理		補助金交	付		その他	(•)
委託先・実施主体等																

194,008 介護給付費負担金(施設サービス費)

主な業務内容

|| 予算執行状況

事業概要 (箇条書き)

主な支出に係る 業務内容と経費

	区分	_	R4(評価前年度)		R5(評価年	度)		R6(本年原)	R7(}	要求年度)	
	① 当初予算		228,476			232,222			253,948			0
予	② 補正予算		0			0			0			0
算情	③ 繰越予算		0			0			0			0
報	前年度繰越		0			0			0			
	次年度繰越		0			0						
	小計(①~③)		228,476			232,222			253,948			0
₹	① 一般財源		0			0			0			0
算	② 国支出金		52,486			52,690			56,489			0
財源	③ 府支出金		39,983			40,639			44,441			0
内訳	④ 地方債		0			0			0			0
a)C	⑤ その他特財		136,007			138,893			153,018			0
決	① 流充用額		0			0						
算	② 配当予算		228,476			232,222						
惰報	③ 執行額		203,465			194,008						
7104	④ 執行率		89.1%			83.5%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.09	/ 0.03	0.09	/	0.00		/			/	
	② 概算人件費		804			720						
ト	ータルコスト 算執行額+概算人件費)		204,269			194,728						
			介護給付費交付金現年度分			介護給付費交付	金		52,3	382	270	
(1)	主な利用特財 N-1年度実績値)	特財名称	介護給付費負担金現年度分		種類	介護給付費負担	!金	実績金額	48,5	502 決算附属資料	269	頁
,,			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担	金		24,2	251	270	

|// 業績投煙

_IV 莱績指標															
成果実績	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
(アウトカム)	【定性的評価】				/			/			/		/		
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
活動室籍	特定入所者介護サービ	ビス給付件数(食費)	件	7579	/	0	6633	/	0	6547	/	0	/	0	-
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	コスト		33.0			30.7			29.6				
実績/計画	特定入所者介護サービ	ス給付件数(居住費)	件	7214	/	0	1 ⁶²⁸³	/	0	6233	/	0	/	0	-
		単位あたり〓	コスト		34.6			32.4			31.1				

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	介護保険法において介護保険事業運営の実施主体は市町村とされている。高齢化率が増加する中、高齢者の生活を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。	
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	る。 施設入所、短期入所サービスの食事、居住費の利用者負担分の軽減証(負担限度額証) を交付した。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自の単価設定等はない。	□ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	高齢化が進む中、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市 高齢者が安心して生活していくためには、介護保 画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性	険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第9次高齢者保健福祉計画及び	第8期介護保険事業記
定性的な	> m±	日に至って、返正・8字不足日と11つで 001に	LH J [1] [100.]	
含めた自己	己評価			
	- 			
			7.悪の後加が見込まれる	
			へ員の名前が元ととますらる。 う、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運	営を引き続き行ってい
		介護保険法等により市が実施することとされてい	る介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。	
改善	策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
la di III o	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	
了开女小刀到	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹相木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

4 >15 /164 /												
事業名	在宅医療介	護連携推進事業						事	業コード	030201420	579	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひと	りが、最期まで生	Eき生きと暮らし、	、温かく見送られ	るまち	政策目標	1 自分らし	く暮らせる	る社会環境	の充実	
以 來 仲	施策名	2 最期まで自分	らしく生きられる	「終活」の普及				施	策コード	612		
事業担当	所属	15070000 福祉係	保健部 地域包括	舌ケア推進課			所属長	高山 明子				
会計情報	款 03 地	域支援事業費	項 02 包括支持	爰•任意事業費	目 01包括的·継	続的ケアマネジメント事業費	会計 1	5 介護保険	決算附	属資料	278	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉	計画		R6	現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補助事業	□ 市単独	事業 □ 内部	『庶務的事業 □ その)他 (•		•)
関連事業	-											

|| 事業基礎情報

11 子木全灰1117	N.						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	高齢化が進展する中、できる め、医療機関と介護サービス				きるよう、必要に応じて在	宅医療と介護サービ	スを一体的に提供するた
対象者	医療・介護連携に関わる機関	目、医療介護に関心の	りある市民	対象者数	1,857	単位あたりコスト	5.1
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	官管理 口 補助	か金交付 □	その他 ()
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	・多職種連携研修会の実施 ・職種同士の意見交換の場 ・専門職による小さな協議会 ・市民に向けた啓発事業の事	の継続的な開催					
	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容		
	報償費	32	委員等謝礼				
主な支出に係る	役務費	1	郵送料				
業務内容と経費							

Ⅲ 予算執行状況

	Ę	区 分		R4(評価前年)	度)		R5(評価年	度)		R6(本年原	E)		R7(要x	求年度)	
	1	当初予算			341			293			293				0
予	2	補正予算			0			0			0				0
算情	3	繰越予算			0			0			0				0
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0							
	小	th(1)~3)			341			293			293				0
予	1	一般財源			0			0			0				0
算	2	国支出金			131			113			113				0
財源	\vdash	府支出金			66			56			56				0
内訳		地方債			0			0			0				0
D/\	5	その他特財			144			124			124				0
**		流充用額			0			0							
決算情	2	配当予算			341			293							
情 報	3	執行額			36			33							
TIA.		執行率			10.6%			11.3%							
人概工算	正職 ※R4	従事職員数 員/会計年度任用職員 は、正職員/非常勤嘱託	0.73	/	0.25	1.17	/	0.05		/			/	/	
		概算人件費			6,540			9,500							
卜	算執	タルコスト 行額+概算人件費)			6,576			9,533							
					生活以外の地域支援			地域支援事業交付金(介 活以外の地域支援事業)国庫補助金			12		271	
(1)		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	地域支援事業交付 (介護予防・日常生	寸金 生活以外の地域支援	長事業)	種類	地域支援事業交付金(介 活以外の地域支援事業	↑護予防・日常生)府補助金	実績金額		6	決算附属資料	271	頁
				介護給付費等	繰入金			介護給付費等線	入金			6		271	

成果実績	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
(アウトカム)	医療・介護・福祉総合	ビジョン関係者の共有	箇所	77	/	235	82	/	235	82	/	235	/	235	235
実績/目標	(医療機関87、1	个護事業所148)			/			/			/		/		
	指	標	単位		R3			R4			R5		R6		最終目標
活動実績	在宅医療介護連携推	進事業8項目実施状況	項目	8	/	8	8	/	8	8	/	8	/	8	8
(アウトプット)		単位あたり=	スト		0.3			4.5			4.1				
実績/計画					/		18	/			/		/		
		単位あたり〓	スト				10								

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した <u>R5年度の</u> 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	医療・介護・福祉総合ビジョンにあるように、在宅医療を支えるには多職種がチームで連携をとりながら支援していくことが重要であり、市・府(中丹西保健所)・福知山医師会が共有し、令和5年度も三者共催事業として多職種向けの研修会を開催し、連携の必要性につ	
必要	更 性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	いて投げかけた。 また、国(厚生労働省)の支援を受け、府・市で医療介護連携事業に関する取り組みの課題整理を行い、4つの場面を意識した事業の整理や核となる協議会の設置を行った。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	令和5年度も市・府(中丹西保健所)・福知山医師会で事業を実施しているが、福知山医師 会が京都府の地域在宅医療推進事業補助金を申請し、主にこの補助金を活用して実施し ている。	□ やや高い
効 琫	区 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	令和5年度も市・府(中丹西保健所)・福知山医師会で協議を行い、「在宅医療・介護連携 の在り方」、「ヘルパーの視点から連携を考える」をテーマに在宅医療推進研修会を開催。 このような取組みを行いながら、京あんしんネット登録事業所数を把握し、国が指定してい	
有效	为性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	る8項目全ての実施を進めることができている。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的 含めた自 及び現状	己評価	で支えるヘルパーの実際について「ヘルパーの初たことから、実際に救急搬送時の対応についてのに課題を感じるという意見があり、今後も顔の見い「京あんしんネット」については、今和5年度はあらうことで、登録はしていたが活用したことのなか・国の支援を受け、改めて医療介護連携事業の3上げた。今後は、それぞれの専門職の課題や方	職種連携の実践や工夫をそれぞれの専門職の立場から話してもらう「在宅医療・介護連携」 見点から連携を考える」をテーマに研修会を2回開催した。参加者には好評であり、今年度は り意見交換等を行うことができ、様々な職種間での顔の見える関係づくりに影響を与えた。し える関係性の構築、ICTツールの活用が必要である。 修時に「京あんしんネット」を活用した事例を紹介する等、より具体的に理解を促し周知に努った方が実際の業務で活用されることにつながり、有効性を実感してもらうことができた。 見状について確認し、課題の整理や都道府県・市町村での役割分担の明確化を行い、市内 向性等、丁寧なビアリングを行い、施策や事業への反映が必要である。 、今回、医師会と共催で実施した研修会に係る報償費を京都府医師会の予算を活用できた	、救急隊員の参加もあかし、他の職種との連続がし、他の職種との連続がた。活用例を知ってで核となる協議会を立
改善	等策	研修では介護分野の参加が中心であるため、障	続き市・府(中丹西保健所)・福知山医師会で協議を行い、3者共催事業に反映させていく。 害等、様々な分野の専門職の参加を促し、医療・福祉間での顔の見える関係形成の構築を 見を確認するとともに、各専門職団体への聞き取りを行い、現状や課題、今後の方向性や専	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
	□ 統合/組換	
	□ 廃止/休止	
	□ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)